

米国：パテントニュース

・写真記憶装置に関する富士・Lexar の抗争

デジタルカメラ記憶装置の製造メーカーである、富士写真フィルム(富士)と、Lexar Media Inc. (Lexar) は、特許権侵害をめぐって訴訟の攻防を行っている。

富士は、ニューヨークの米国地方裁判所に、Lexar に対して訴訟を提起して、2002 年にテキサスの米国地方裁判所に Lexar によって提起された係争中の訴訟を拡大させた。富士は、Lexar のフラッシュメモリーカードが、データ記録方法に関する富士の特許権を侵害しているとして、Lexar に対し、損害賠償と差し止めによる救済を求めている。Lexar は、2002 年の訴訟において、富士のフラッシュメモリーが、フラッシュメモリー記録装置の特許を侵害していると主張している。

・USPTO が PCT 出願の特許調査の外注を検討

米国特許商標庁 (USPTO) は、PCT 出願の調査に関するパイロットプログラムへの参加に関する契約を商社 2 社と行ったことを発表した。このパイロットプログラムの目的は、商業団体による PCT 出願の先行技術調査が、正確であり、USPTO による調査の基準に合致しているか否かについて決定するものである。

USPTO は、PCT 出願の手続きをアウトソーシングすることにより、未着手の継続中の国内出願の数を、減らすことに集中できるとしている。

以上は米国 GLEENBLUM & BERNSTEIN 法律事務所から許可を得て、同事務所が発行した ASIAN PRACTICE GROUP NEWSLETTER から抜粋、翻訳したものです。